

熊本レッドベアーズの実践を当てはめると

CASE 03 | 熊本レッドベアーズからトルネードアカデミーへ

出発点

技術だけでなく、
人として育つ環境をつくりたい

親・子・コーチが同じ方向を向き、選手が安心して挑戦できる場を目指しました。

目指した景色

型を学び、
自分を知る成長階段

世界基準の指導を共有し、夢中になれる選手と指導者を地域に増やす。

ハッと育の進め方として整理すると

1

型に触れる

動きの基礎を知る

2

段階を知る

今の自分確かめる

3

試して比べる

テストと映像で気づく

4

自分で組む

課題に合う練習を選ぶ

5

実戦へつなぐ

1on1で判断する

「褒め育て」は、選手が挑戦を続ける安心をつくるため。

多くを語りすぎず、個を認め、うながす。共通の型を入口に、本人が自分の課題と次の一步を見つける環境を設計しました。

この事例に見える「3回の受容」

受容①

挑戦する前の不安や、できない現在地を受け止める

受容②

同じ型でも、一人ひとりの進み方と得意の違いを認める

受容③

本人が選んだ課題と練習を、テスト・映像・対話で支える

出典：Tornadoes Academy 指導要領／指導書 基礎／指導組み合わせ案／T-Academy参加について

6つの仕組みが、成長階段を支えた

武道の「型と帯」を参考に、基礎・段階・反復・実戦を一つの学びとして組み合わせました。

1

技術をA～Dで段階化

仕掛け

ラダー、ハンドリング、パス、ドリブル、シュートを細分化。

育つ力

今の段階と次に学ぶ型が見える。

武道の型

成長階段

2

B・M・Aのクラス

仕掛け

ビギナー、ミドル、アドバンスで課題の難度を変える。

育つ力

無理なく挑戦し、上達の手応えを持てる。

帯の考え方

個を尊重

3

練習を組み合わせる

仕掛け

基礎メニューを時間・人数・目的に合わせて構成。

育つ力

練習の意味を理解し、集中して取り組む。

時間の設計

創造

4

テストと映像を残す

仕掛け

共通テストと番号付き動画で、動きの基準を共有。

育つ力

感覚だけに頼らず、自分の変化を確かめる。

記録

継続

5

1on1で判断する

仕掛け

覚えた技術を、対人・実戦の中で選び直す。

育つ力

型を真似る段階から、自分で使う段階へ進む。

実行

自分で選ぶ

6

指導者も段階的に学ぶ

仕掛け

研修、報告、会議、共通要領を通じて指導を共有。

育つ力

地域が違って、学び合える環境が育つ。

協調

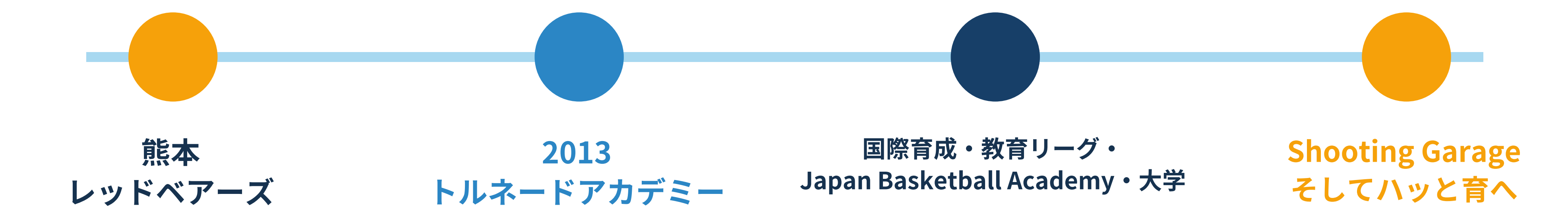
全国ネットワーク

共通の型は、選手を同じ形にするためではなく、
自分の特徴を知る土台として使われた。

指導要領には「多くを語らず、個を認め、うながす」と記されています。

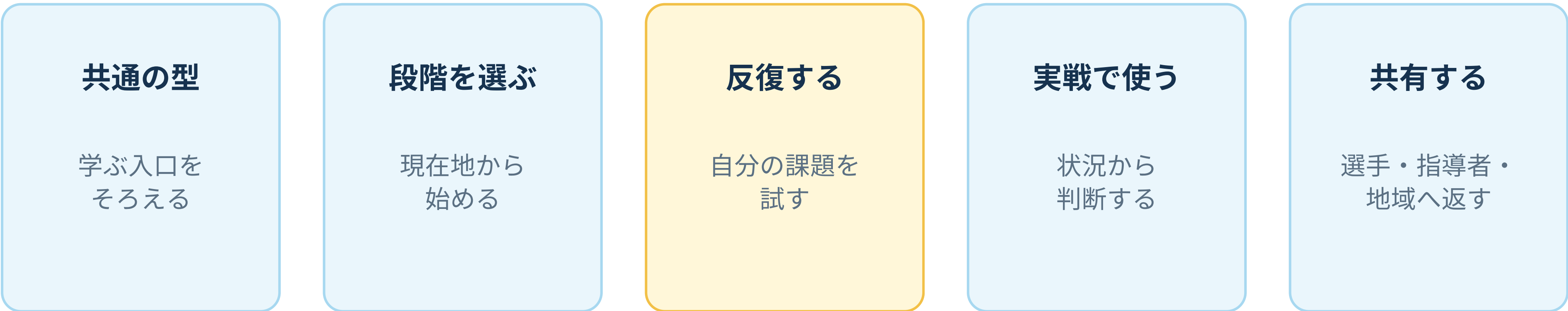
技術指導の仕組みが、学びのネットワークへ広がった

熊本で生まれた実践は、共通の理念とカリキュラムを持つアカデミーへ発展しました。



2013年、熊本2拠点・愛媛・北九州・東京・埼玉の6拠点からスタート。
世界基準の指導要領を共有し、地域ごとに夢中になれる環境を育てました。

自走する学びの仕組み



環境を渡し、本人が夢を育てる

「畑（環境）を提供します。作物（夢）を作ってください」という言葉が、現在の気づきデザインにつながっています。

成長階段

指導者が答えを先に渡すのではなく、型・段階・比較・実戦を用意する。選手は其中で自分の現在地を知り、自分で次の一段を選びます。

この考え方は、現在のShooting Garageの個別プログラムにも受け継がれています。

名前が付く前から、ハッと育は実践されていた

残された資料には、現在の1 IDEAL・5 VALUES・9 GUIDELINESにつながる考え方が見えます。

理念

実行・創造・協調

教えられるだけでなく、自ら動き、工夫し、仲間と学ぶ。

環境

世界基準と褒め育て

安心して挑戦できる環境を、親・子・コーチでつくる。

成長

A〜D／B・M・A

型と段階を使い、現在地と次の一步が見える形にする。

共有

指導者も学び続ける

研修・報告・会議・共通要領で、地域を越えて支え合う。

5 VALUESで振り返る

尊重

個の違いを認める

創造

練習を組み合わせる

成長

段階と記録で次を知る

自由

自分で課題を選ぶ

平等

地域を越えて学びを共有

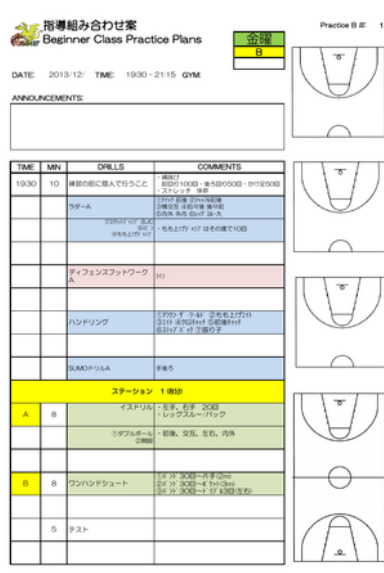
1 IDEAL | 平和 違いを優劣にせず、互いの成長を支えられる環境へ



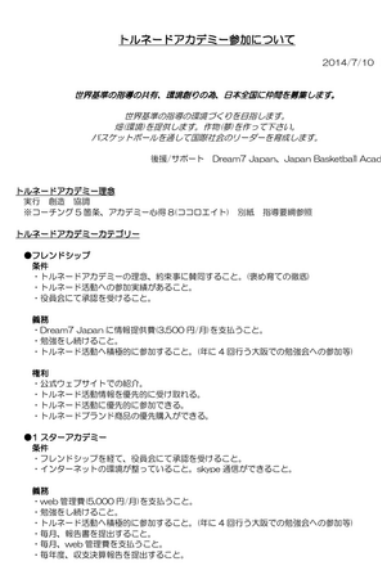
指導要領



指導書 基礎



組み合わせ案



参加について

検証材料

番号付きの段階別動画
共通テスト・練習計画
各地の活動記録

次に加えると、さらに伝わる記録

開始年・参加人数／段階を上がった選手の声／卒業生と指導者の証言／テストの推移

ZEN-PORT | 可能性が動き出すプラットフォーム